

別添3 令和7年度一般廃棄物・資源循環基礎研修 日程表

9:00		9:30		10:00		10:30		11:00		11:30		12:00		12:30		13:00		13:30		14:00		14:30		15:00		15:30		16:00		16:30		17:00		17:15	
10／7 (火)				開講式 オリエンテー ション	廃棄物行政の歴史と 循環型社会の形成に向けて				一般廃棄物処理施設の整備と 循環経済への移行				リサイクル法制度について				一般廃棄物処理計画の策定に ついて			17:15～ 19:00															
				環境調査 研修所	一般財団法人 日本環境衛生センター 理事長 南川 秀樹				環境省環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 課長補佐 勝見 潤子				環境省環境再生・資源循環局 リサイクル推進室 室長補佐 村井 辰太郎				一般財団法人 持続可能社会推進 コンサルタント協会 鈴木 修			交 流 会															
10／8 (水)		プラスチック資源循環利用 の現状と今後の見通し			廃棄物処理法の現場				事例発表 (3事例)		グループ討議、討議結果の共有 (未利用地域資源(一般廃棄物)活用の在り方について)																								
		一般社団法人プラス チック循環利用協会 富田 斉			BUN環境課題研修事務所 主宰 長岡文明				(討議助言者 BUN環境課題研修事務 所 主宰 長岡文明)		討議助言者 BUN環境課題研修事務所 主宰 長岡文明																								
10／9 (木)		「リサイクル率日本一」 大崎町がめざす循環型社会				11:00出発 施設見学ー彩の国資源循環工場ー																													
		鹿児島県大崎町 環境政策課 竹原 静史				●グループ①: 埼玉県環境整備センター<県営最終処分場>、彩の国資源循環工場<よりいコンポスト(株)、(株)ウム・ヴェルト・ジャパン> (汚泥、食品リサイクル) (蛍光管リサイクル) ●グループ②: 埼玉県環境整備センター<県営最終処分場>、彩の国資源循環工場<(株)アイルクリーンテック、オリックス資源循環(株)> (生ごみ・食品リサイクル) (サーマルリサイクル) ●グループ③: 埼玉県環境整備センター<県営最終処分場>、彩の国資源循環工場<(株)ウム・ヴェルト・ジャパン、ツネイシカムテックス埼玉(株)> (蛍光管リサイクル) (焼却灰リサイクル)																													
10／10 (金)		ごみのポイ捨て・発生抑制対策 について			適正処理困難物の対策について				閉講 式																										
		BIPROGY株式会社 池田 流星			公益社団法人全国都市清掃会議 事務局長 河井 一広				環 境 調 査 研 修 所																										

○使用教室 講堂

* 注意事項

1. 日程表は都合により一部変更する場合があります。
2. 最終日は12:30終了予定となっておりますが、講義時間の延長等により遅れる場合があります。帰路の交通機関の利用等による閉講式の欠席は認めません。
3. 参加にあたっては、「研修受講ガイドブック」(環境調査研修所Webページに掲載)をよくお読み下さい。
4. 最終日は昼食の用意はありません。